

日本で育った カンボジア人が 世界をつなぐ

●プロフィール コン・ブンティ

1972年 プノンペン生まれ
1980年 家族と共に地雷原の中、
タイ難民キャンプへ
1981年 難民として日本へ渡った
後、私立南山高校(名古屋市)を
経て東京理科大学入学(中退)
2001年 カンボジアへ帰国
帰国後は各国マスコミの取材や
映画撮影、企業のカンボジア進出、
JICA活動等に通訳・コーディネー
ターとして携わる。近年では俳優・
向井理のカンボジアコーディネー
ターを務めた。カンボジア-日本友
好学園理事としてNGO、NPO団体
との関係も深い。

●講演：コン・ブンティ (通訳・コーディネーター
カンボジア-日本友好学園理事)

●共同司会：露木 繁 (数学科講師)

●共同司会：照井 俊 (化学科講師)

コン・ブンティ氏は、内戦中のカンボジアで生まれ、幼少期に家族とともに難民として日本にわたり、大学まで日本の教育を受けた。カンボジアと日本を母国とする異色な経歴の持ち主だ。

そんな現在の彼は、『通訳・コーディネーター』、彼の祖父が創立した『カンボジア-日本友好学園理事』、また、学校のあるプレイベン州プレスダッチ地区の『地域開発メンバー』と多彩な顔を持つ。

カンボジアは内戦で大きな痛手を負ったが、近年の経済発展はめざましい。その根底には、ブンティ氏のように、パワフルな活動を展開するカンボジア人の存在がある。

ブンティ氏は、「日本でもカンボジアでもどこに生きていようと、自分と真摯に向き合い、生きていく覚悟をもっていれば道は開けていく」という。

将来、国際貢献活動に取り組みたい、教育の在り方を見直したい、世界を舞台に仕事をしたい…そんな夢を持つ皆さんが彼の生き様に耳を傾けることで、本やインターネットでは知りえない「活きた」知識を得ることが出来るだろう。そして、今なにをすべきか、大学で何をめざすべきなのか、ヒントを得ることが出来るだろう。

11月3日(月・祝) 17:30~19:00

津田沼校 604教室

入場無料
申込不要

〒275-0026 習志野市谷津 1-15-33

☎ 0120-192-840

- JR総武線「津田沼駅」南口より徒歩3分
- 新京成線「新津田沼駅」南口より徒歩6分
- 京成本線「京成津田沼駅」北口より徒歩12分

